



学生生活 Campus SEIJO

新入生歓迎特集号

No.214



CONTENTS

学長挨拶	2~3		
学部長からのメッセージ	4~7	体育部連合会	14~16
成城大学学友会へようこそ	8	スポーツしようよ!	
学友会組織図	9	黎明(めーあ・りひと)	17
部員を募集して活動する学友会の団体	10	成城探究	
文化部連合	11~13	フレッシュマンガイダンス	18~20
バリエーション豊かな文連です。!		Campus SEIJO Information	21~24
		編集後記	24



学生として、人として

学長 清水 眞澄


成城大学は、東京の閑静な住宅街にあります。整然と計画された道路は、大学に向かう縦の銀杏並木と、それと交差する横の桜並木に彩られ、特に入学を迎える四月は大変美しい季節といえるでしょう。諸君の先輩たちが毎年経験していったこの素晴らしい光景のなかで、今年もまた、伝統に支えられた成城の校風を受け継ぐ諸君を迎えることができることは大変嬉しいことです。

大学に入学した諸君は、少なからず何らかの期待と意欲をもってこれからの学生生活をどのようにおくるかを考えているでしょう。とはいうものの、それが形として頭にある人も、漠然としている人も、まだほとんど考えていない人もいると思います。では何のために大学に入学をしたのか改めて考えてみてください。

今世界は、日々変化する激動の時代といってもいいでしょう。イラク戦争、アフガニスタン、パレスチナ問題、北朝鮮の核兵器、アフリカ各地の内戦、あるいは地球温暖化など環境問題、IT産業の発達による社会の変化、凶暴な事件の増加など、連日報道されているところです。

諸君も、これらを見無視して大学生活をおくることはありえません。まずは大きく目を開き、世界情勢や日本の諸々の出来事をしっかりと認識することです。興味がないからとか、他人事だからで済まされない、実は自分自身に密接に関わる問題が非常に多いからです。まずは第一歩、自分の関心のある社会の出来事に注意してみてください。

次に、それらの事柄について色々の面から考えてみるのが大切です。ものごとをじっくりと考える、すなわち思考の形成は、大学生にとって最も重要な、最も求められるところです。何事も順序立てて理解し、組み立てる訓練が課題となるでしょう。つまり、自分で探してきた諸々の問題を、順序立てて理解し考える訓練です。



この論理性とともにもう一つの大きな柱となるのは、感性を磨くことです。人間が人間であることの証ともいえる美術や文学など芸術は、社会を構築する上で重要な、心の豊かさを育むものであるのはいうまでもありません。戦争や貧困、病、あるいは心の貧しさを再確認するためにも必要といえましょう。

さて次ぎには、関心をもち、自分なりに思考した諸問題について、その内容を形として表現する、場合によっては実行に移すことです。表現の仕方は色々あります。それを友人や家族に話すのもいいでしょう。文章にしたりメールで送ったりするのもいいでしょう。自分が自分の意見をしっかりと持っていることが確認できますし、相手の意見も聞けて、コミュニケーションがとれることになります。

さてここで、冒頭に挙げた「何のために大学に入学をしたのか改めて考えてみてください。」という言葉に戻ると、ここまで述べてきたことは、結果的に「未来の社会に貢献」することに繋がるのです。社会貢献というと、何か大仰な感があって、役に立つ、ボランティア、あるいは正義感、献身、援護、無欲などの語句が思い浮かぶでしょうが、ここでいう社会貢献は、直ぐに役立つ実務という意味ではありません。現代だけでなく未来の社会のためになるということですから、自分自身の知的能力や感性を高めることによって、未来の豊かな人間性に充ちた社会の構築に役立つことを意味します。

社会の出来事に関心を持つ広い視野を求めますが、時には旅に出たり、スポーツや音楽や絵や小説の世界に入り込み、時には思索にふけるのもいいでしょう。要は、それが「未来の社会に貢献」することを目指すことにつながる意識が重要なのです。

大学生活は、のんびりとした自由な時間だけではなく、時には厳しく自らを律しなければなりません。どんなことであれ、自分は「未来の社会に貢献」するんだという気概をもって、充実した学生生活をおくることを期待しています。

学部長からのメッセージ



人口減少社会と経済学部生

経済学部長 明石 茂生

経済学部新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから4年の間、経済学部で経済・経営に関わる高等教育を受けて過ごすこととなります。学問上、専門領域のみならず他の領域にも知的関心を拡げて自らを啓発していかれるであろうと思いますが、この4年間は卒業後どのような社会人となって活躍していくのかを見定めるための準備期間ともなるはずです。将来どのように生きていくのか決めなければならないときに、経済学部以身を置いたという経験はなんらかの形で生きて、決して無駄ではなかったという感想を抱かれるものと信じております。

皆さんはおそらく、経済とは何かという素朴な疑問を抱きながら学部に入ってきていることでしょう。経済活動といえば、もの一般の生産、流通、消費に関わり、その範囲は実に広く身近でもあります。たとえば、家計簿をみれば家族の経済状況がわかるでしょうし、近くのコンビニやさまざまなショップを徘徊して、または雑誌、テレビ、インターネットを通じて流行の商品の動きなどを経験上把握することもできるでしょう。しかしながら、一度その背後にあるさまざまな取引を想像し、株価や商品価格、貿易や景気といった言葉を耳にしたとき、自分たちが身近に接している経済活動は、全体から比べればごくごく一部分でしかなく、経済の実体のほとんどが見えないところにあるのだということがわかるかと思えます。その具体像に迫るには、理論というソフトウェアに、具体的な情報(データ)を注入して想像するしかないのです。経済学部生になるとということは、このように情報を使い想像力をもってものごとを理解し対処しえる人間になることだ、ということが段々わかってくるはずですよ。

皆さんが大学を出て、社会人として活躍される今世紀前半、日本経済は劇的な変化をきたすといわれています。もうすでに、日本は人口減少経済の中に入りはじめました。社会を担う生産年齢人口が減少する一方で、高齢化社会が着実に進み、2050年には国民2.8人のうち1人が65歳以上の高齢者になると推計されています。経済は人口減少に引きずられるように全体として縮小の方向に向かうことになり、これは新規に立ち上げる事業よりも廃棄ないし更新する事業のほうが多くなることを示唆しています。経済規模を維持するには、既存物の効率的な維持(メンテナンス)に腐心せざるをえなくなり、廃止・更新する場合には、実情に合わせて魅力的でより効率的なものに思い切って転換する知恵が必要となります。

皆さんが活躍する時代は、このような廃棄と更新の問題が待ち受ける時代になるはずですよ。その時代は、過去に培われた発想法があまり役立たず、限られた資源を再利用という観点から大胆に使いなおすことが求められる時代です。何をなすべきか、皆さんがそれぞれ置かれた状況で自ら発想して、必要なところに集中して資源を投入するというメリハリの利いた意思決定と行動がもためられるのです。これからは、各分野でこのような適格な判断を行える人材が必要とされるはずですよ。そしてそのような人材を培うのに経済学部という学びの場ほど格好の場所はないとさえ、私は思っています。皆さんがこの4年間経済学部で有意に過ごされることを切に願っています。

歓迎



文芸学部長 戸部 順一

「文芸学部へのご入学、おめでとう。私たちは心より皆さんを歓迎します」

この数年というもの、私はこの挨拶の言葉で皆さんを迎えてきた。少しは変化をつけようとも思ったが、皆さんが成城大学を、そして文芸学部を選んでくれた気持ちに応える最も簡潔な挨拶として、今年もこの挨拶を繰り返したい。

文芸学部へのご入学、おめでとう。私たちは心より皆さんを歓迎します。

ところで歓迎。皆さんを迎えることには、あるいは迎えたあとにはどんな喜びがあるのだろうか？

喜びの箇条書き的表白

宇宙の、あるいはこの世界の真理を、私たちと同じ方法で求めようとしている皆さんが、私たちの学舎の戸を叩いてくれた（迷い込んだのではないでしょうね）ことには喜びがある。

その皆さんに入場を許可したことには喜びがある。

私たちが持っているささやかな知識を皆さんに伝えられることには、そして伝えるための工夫を日々考えることには喜びがある。

4月の教室、ギリシア語アルファベットの（アルファ）-（ベータ）-（ガンマ）あるいはA - B - Cが、なぜこの順番で並んでいるのかを一緒に考えてみることには喜びがある（少々個人的な喜びではありますが）。

1年を経たとき、私たちの伝えたささやかな知識を、己の血肉としている皆さんを嫉妬することには喜びがある。

2年生、もしくは3年生の4月、修得した知識をばねにして、大げさに言えば真理探究の旅に発とうとする（いま少し平凡に言えば、自分なりの大学での勉学を開始する）皆さんを見守ることには喜びがある。

指示したわけでもないのに、図書館で本を開いている皆さんを見かけたときには喜びがある。

3年生の後期、図書館通いが皆さんの成長を促し、その成長が皆さんに自立をもたらし、私たちのコピーであることを否定するにいたったとき、慌てふためく私には喜びがある。

4年生の6月の頃、ゼミナール授業の時間、自分で見つけた知識と自分で組み立てた理論で武装した皆さんを、ねじ伏せてやろうと待ち構えることには喜びがある（同じ頃、卒業後について悩む皆さんと一緒に悩むことにも喜びがある、と言えましょう）。

かつての私同様、振り返りにされた皆さんを叱咤激励し、再び立ち向かわせることには喜びがある。

4年生の晩秋の頃、同じゼミナールの授業のとき、「そんなことではだめだ」と怒鳴るつもりでいた私が、「なるほど」と言ってしまうことには喜びがある。

4年生の冬休み、皆さんの提出した卒業論文を感心しながら読めるときには、至上の喜びが訪れる。

卒業を目前にした1月の末、卒業論文への辛口の論評に必死に反論する皆さんの様子を、思わず同僚と笑ってしまうことには喜びがある。

4年生の3月、場合によっては、たとえ部分的であるにせよ、私を越えた皆さんが、自信を持って社会に飛び出してゆくのを「おめでとう」と言って送り出すことには喜びがある。

こんな風にこれからの4年間を皆さんとともに過ごせることを想像することには喜びがある。是非、文芸学部で有意義な大学生活を送ってください。

学部長からのメッセージ



大学、そして『学生』

法学部長 今野 裕之

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

みなさんは今日から晴れて成城大学法学部の一員となり、『学生』となった訳です。みなさんの多くは、小学校、中学校、高等学校を経て、大学に入学されたことと思います。こうしたことから、みなさんは、大学とは小学校から高等学校まで学んだことよりも難しいものを学ぶところだと漠然と考えているのではないのでしょうか。大学のことを最高学府（＝教育機関として最高のもの）といったりすることにもそれは表れています。

しかし、大学は、じつは、小学校や中学校よりもずっと前から存在していました。現在の大学の原型とされるものは、イタリアのボローニャ大学とサレルノ大学、フランスのパリ大学です。ボローニャ大学とサレルノ大学は11世紀、パリ大学は12世紀に誕生しました。これらの大学は、教師と学生が自ら作り出した自治組織でした。つまり、大学は、学問という共通の目的をもつ人々が自分たちの立場や利益を守るために集まって生まれた組織だったのです。大学の「自由」や「自治」の思想はここから生まれました。大学とは、純粋に学問をするための場所なのです。

こうした大学の歴史を知れば、それが小学校から高等学校までの教育機関と直接の関係をもつものではなく、むしろ別の原理で動いていることが理解されるでしょう。わが国の学校教育法でも、小学校、中学校および高等学校がそれぞれ初等、中等および高等の普通教育を施すものとされているのに対し、大学は、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し知的、道徳的および応用的能力を展開させることを目的とするものとされています。

純粋に学問をするための場所である大学で学ぶものは、学校教育法上も、『学生』とされ、もはや生徒ではありません。生徒とは、学校において習い教わる存在にすぎません。これに対し、学生とは、大学という場所を利用し自ら学ぶ者をいいます。大学とは、自ら学ぶ者の集う場所なのです。高校までのように正解を学ぶのではなく、むしろこれまで正解とされてきたものを批判し、再考する知識、情報、能力（＝知性）を身につける場所なのです。こうした知性を醸成する出会いの場、それが大学なのです。講義で、ゼミナールで、キャンパスで、学問を通じた新しい出会いがみなさんを待っています。

イノベーションに今

社会イノベーション学部長 村本 孜



社会イノベーション学部の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。社会イノベーション学部は2005年4にスタートした新しい学部です。皆さんは3期生で、専門課程が本格的に始まる1期生、昨年入学の2期生の皆さんとともに、新学部の文化あるいは流れを作る役割を担っておられます。成城大学は50年余を超える歴史を持っていますが、皆さんの息吹が必ずや大学の新しい風になるものと期待されています。

昨年来、政府はイノベーション担当大臣を置き、「イノベーション25戦略会議」を作って、人口減少社会をイノベーションによって克服しようというメッセージを掲げています。本学部はいわば時代を先取りしてきたわけですが、この風を大いに活用したいと思います。

既に、ホームページや学部案内で見えておられると思いますが、社会イノベーション学部は、日本で初めての学部です。最近、ビジネススクールやMOT（技術経営）の大学院が出来て、イノベーションを研究科名に付けた大学院が出来てきましたが、学部ではまだありません。

日本が、世界のフロントランナーに踊り出て20年余。それまでのキャッチアップ型の経済システムは、大成功したといえます。日本型経営という終身雇用、年功賃金、企業内組合という仕組みも成功を支えました。しかし、この日本型経営が機能不全になって久しいことに明らかなように、キャッチアップ型経済システムの部品は、フロントランナー型経済システムには合わなくなっているのです。

そこで、日本を支えた種々の構造やその文化的側面、そしてその担い手である個人個人の物の見方・考え方をイノベートしていくことが求められているのです。この新しい取組みを学問の対象として捉えるのが社会イノベーション学部のコンセプトですが、学部教育そのものもイノベートしようというのが、新学部の狙いです。無論、大学ですから一定のルールはありますが、最低3つの言語をマスターして欲しいという願いがあります。1つは、国際共通語としての使える英語、2つめに社会的ツールである情報技術（IT）、3つめに日本語（読み書きに加えて情報発信のプレゼンテーション能力としての日本語）です。その3つ言語の上に専門知識をがっちり構築して欲しいのです。

皆さんは、これまでどちらかといえば受け身の学習であったと思います。これからは、自分で積極的に取り組み、身に着けることができる学習となります。それを可能にするカリキュラムを用意しました。是非、積極的に関わって欲しいと思います。

社会をイノベートするにはまず自分をイノベートすることが必要になります。これまでの発想を変えて下さい。そして、一歩踏み出して下さい。先生の研究室を訪ねて下さい。オフィスアワーを活用すれば、アポなしで先生と話ができます。

新しい成城大学の文化と一緒に創っていきましょう。

☆成城大学学友会へようこそ☆



学友会の組織を
簡単に説明すると
↓こんな感じだね。

☆全学総会☆ 成城大学の学生にかかわる様々なことをまとめて報告したり、決議する〈最高議決機関〉のことです。中学とか高校でやった生徒総会に近いと思います。毎年6月に五十周年記念講堂で開催し、各部活の決算報告・予算報告、学友会諸問題についての決議が主な内容。全学生の4分の1以上の出席が委任状の提出がないと成立しません。

☆会計監査委員会☆ 学友会の資金がきちんと運営されているかチェックする委員会。決算時期には大変お世話になります。

☆執行部☆ 各学部にも所属する学生の自主的な研究活動の推進及び大学生生活の向上のために各種活動・行事を行っています。冊子を作ったり、講演会を開いたり、オリエンテーションを運営してるのも執行部です。その学部の学生であれば、誰でも入れる、部員を募集して活動する団体です。

新入生の皆さん、
ご入学おめでとうございます！
さて、「成城大学学友会へようこそ」と、
突然言われても、「学友会って何？」という感じですよ。
まず、「学友会」を構成する「学友会員」とは誰か？
というと、成城大学に在籍しているすべての学生が、
学友会員となるんですよ。（大学院生は除きます）
ですから、みなさんが成城大学に入学したその瞬間から、
学友会員になっているというわけです。
それでは、学友会とは何かということを一言でいうと、
「**学生の学生による学生のための組織**」ということになります。
右のページにあるのが、現在の学友会の組織図です。
学友会費は、学費と一緒に毎年徴収されていて、
その中から、各部活・団体の活動費や、
オリエンテーション、その他学生主催の行事などにお金が
使われているのです。
部活するのもよし、行事に参加するのもよし、
とにかく、大学生生活を、
楽しみましょう♪

☆総務会☆ 学友会各機関の統轄、全学総会の開催、学友会費の資産管理の責務を負って中心となって活動しているのが総務会です。総務会は、経済学部部会・法学部部会・文芸学部部会・社会イノベーション学部部会・文化部連合・体育部連合会の各代表（総務または委員長）・各副代表（副総務または副委員長）から構成されており、毎週（長期休暇中も月に2回）開かれています。日常で生じる成城大学・学生の問題を話し合いで解決に努めています。

☆会計委員会☆ 実際に学友会のお金を管理している委員会。各団体との予算折衝や決算の事務を担当しています。

学友会組織図

全学総会
(学友会最高の議決機関)

学友会会員:全学生
(大学院生は除く)

会計監査委員会

会計委員会

総務会

執行部
 経済学部部局
 文芸学部部局
 法学部部局
 社会イノベーション学部部局

所属研究団体…9

体育部連合会

所属団体…39

文化部連合

所属団体…30

特別機関
 (新聞会)
 応援団
 放送部
 厚生部

特別委員会
 大学祭実行委員会
 卒業アルバム製作委員会
 新入生課外活動参加推進委員会
 卒業記念パーティ実行委員会

専門局
 事務局
 広報局
 印刷局
 照明局

平成19年度総務会メンバー

総務会議長兼社会イノベーション学部部会 総務	中嶋 琢
総務会副議長兼文芸学部部会 総務	宇佐美草太
経済学部部会 総務	木村 美帆
経済学部部会 副総務	土屋 健太
文芸学部部会 副総務	洪 伶菜
法学部部会 総務	河村 美帆
法学部部会 副総務	塩田栄一郎
社会イノベーション学部部会 副総務	大和田聖実
文化部連合 総務	瀬川 涉
文化部連合 副総務	久田眞理子
体育部連合会 委員長	小池 康裕
体育部連合会 副委員長	松田 玲奈

体育部連合会は
14~16P

文化部連合は
11~13P

次のページにつづく

部員を募集して活動する学友会の団体

執行部

経済学部部局
文芸学部部局
法学部部局
社会イノベーション学部部局

学友会執行部主催オリエンテーション日程

《場所・2号館002教室》

経済学部…4月6日(金) 15:30～

文芸学部…4月10日(火) 14:00～

法学部…4月9日(月) 15:30～

社会イノベーション学部

…4月7日(土) 16:00～

★学生による学生のためのイベント★

研究団体

会計学研究会
民俗学研究会
音楽研究会
ミステリークラブ
歴史研究会
文学研究会
マスコミ研究会
司法試験勉強会
政治経済研究会

連合組織

文化部連合会所属団体…次頁
冊子「C-ZONE」発行
体育部連合会所属団体…20頁
冊子「GET」発行

文体連オリエンテーション日程

日時…4月16日(月) 16:30～

※5時限目休講

場所…五十周年記念講堂

★学内の部活・専門局・特別機関を
一挙で紹介するイベント★

特別機関

厚生部 アルバイト及び下宿の幹旋等の、学内における厚生事業を行う。

放送部 学内行事などでの各種の放送活動全般と放送研究活動を行う。

新聞会 成城大学新聞の発行を行う。現在休部中。

応援団 各種の体育・文化両方面の応援活動を行う。

*リーダー部

*チアリーダー部「BRUINS」



専門局

照明局(SULT)

学内行事などでの照明事業全般を行う。



大学祭実行委員会

11月に開催される大学祭の企画・運営を行う。

※年間を通じて活動しています。

卒業アルバム委員会

成城大学卒業アルバム制作・運営を行う。

卒業記念パーティ実行委員会

成城大学卒業記念パーティーの企画・運営を行う。

特別委員会

文化部連合

● バリエーション豊かな文連です。 ●

新入生の、皆さん
ご入学おめでとうございます！！
新生活に胸をワクワクさせていることと思います♪
大学生活の中で、
講義のみならず部活動にも興味を抱いている方も多いのではないのでしょうか？
色々な部活動・サークルを見学し、
自分にとって一番、興味をもてる活動や仲間を見つけてみてください。
その中に
文化部連合に所属する30団体も
候補に入れて頂けたら…
と思っています。

文化部に興味のある方は、お気軽に特別2号棟1階
文化部連合本部へお越し下さい！

狂言研究会
軽音楽部
広告研究会
古美術鑑賞会

アメリカ民謡研究会
E.S.S.
映画研究部
映像シナリオ研究会
演劇部
合唱団
華道部
ギター部



サイクリングクラブ
茶道部
写真部
将棋同好会
商業英語研究部
書道愛好会
Student Bible

生物部
ダンス部
釣部
天文研究会
美術部



文芸部
ボランティア部
漫画研究会
落語研究会
旅行部
レストロアルモニコ管弦楽団



☆文化部連合とは☆

成城大学学友会員で
構成される団体であって、

文化的活動の促進のために組織された団体の集まりです。

本学では、文化系部活動と体育会系部活動と独立し、
別々の執行機関を持っています。

その**文化系部活動からなる連合組織が文化部連合**であり、

文化部連合本部を執行機関とし、各団体とも課外活動の一翼を担っています。

本学には、公認課外活動団体を部活動とし、

非公認課外活動団体をサークルと位置づけています。

部活動とサークルの違いは、「部室の有無・部費の有無（学友会配当）」の点で異なります。

やはり、部室があるのとないのとでは安定性が違いますし、

部費が全額個人負担であるのとでは、大きな違いです。

決して、サークルを否定する訳ではありませんが、

現在30ある文化部をご覧になって頂ければ、幸いです。

文化部連合に所属する団体は、4月に体育部連合と合同で「文体連オリエンテーション」、6月に「六月祭」、11月には「大学祭」など年間を通して様々なイベントに参加しています。

☆文化部連合本部とは☆

私たち文化部連合本部は、文化部の皆さんが活動しやすいよう
にお手伝いをしています。会計・企画・広報・事務の4つの局に
分かれ、お昼と放課後、本部にて仕事をしています。

主な仕事は、教室・備品・掲示板の使用届などの手続き、予算
について、年3回の冊子「C-ZONE」の発行などですが、各団体
からの要望・相談も受け付けています。また、1年の中でも大きな
イベントとして、リーダーズ・サミットがあります。

各部の部長・副部長・会計の方々が集まり、部の運営に必要な
ことを学び、更に他の部の人たちとのディスカッションをする場
です。昨年度から、より連合としての更なる発展のため事前オリ
エンテーションも行いました。各団体同士、また団体と本部との
相互理解のためにも、とても重要な場です。

皆さんが楽しく活動できるよう、精一杯、努力していきたいと
思います。

○詳しくは、文体連オリエンテーション、C-ZONEをご覧ください○

☆会計局☆ 会計局では、各団体への予算の決定・配布を行っています。部の発展の為に使われるお金ですので、会計局一同責任をもって仕事に取り組んでいます！！学園生活を充実させるきっかけにもなりますので、気になる部活は部室に遊びに行ってみることをおすすめします。

文化部でみなさんが充実した学生生活を送れるように、また新しいものに出会えるように応援しています。

☆企画局☆ 企画局では主に、4月に文体連オリエンテーション、12月に文連総会の企画・運営を行っております。今年度の文体連オリエンテーションは、4月16日（月）PM4:30～五十周年記念講堂にて開催します。ここでは、文化部連合・体育部連合会に所属する各団体のそれぞれの活動を一度に知ることができる良い機会ですので、友達とお誘い合わせの上、ご来場下さい♪

どの部活に入ろうか迷っていたら是非是非文連に相談しに来て下さい！！

☆広報局☆ 広報局では、文化部連合広報誌C-ZONEの制作を主に行っています。C-ZONEは、新入生に各部活動の活動を紹介し、入部の参考資料として役立てて頂く「新入生歓迎号」、大学祭時に配布する「大学祭号」、各部活動新三役の方々を対象として諸手続き・前年度活動報告等を紹介する「リーダーズ・サミット号」の年3回の発行が基本です。いずれも各団体から参加している本部員の皆さんが、内容・構成などをゼロから制作しています。また、原稿については各団体において熟慮し、制作して頂いています。

各団体の皆さんや広報局員みんなでC-ZONEを制作していくことはとても楽しい活動です。文化部の活動や広報局の活動にもし興味を持って頂けたなら、4月発行のC-ZONE 新入生歓迎号をちょっぴり覗いてみてください♪

☆事務局☆ 事務局は、各部活が部会を開く時等に必要な教室を貸し出したり、インカムやデジタルビデオカメラ等、備品の貸し出しの受付を行っているところです。業務を通して、部活の活動をバックアップさせていただくこととなります。みなさんの活動をより快適なものにするためのお手伝いができたら幸いです。

大学は自分から動いていかなければ、楽しみは得られないところだと思います。恥ずかしがらずに、積極的に行動して下さい。そして、本当に自分のやりたいことをみつけて、それを楽しんで下さい。それができたなら、大学生活は有意義なものになるでしょう。

新入生のみなさんは、わからないことも多く、不安だと思いますが、早くこの環境になれて、楽しい生活を送って下さい。

(文化部連合本部)

《体育部連合会》

スポーツしようよ！

スポーツするなら体連！

学生生活も残すところ4年間、今しかできないことを、仲間と熱くやろう！



今年のテーマは「^{ぞく}続・^{じょうしょう}常勝^{せい}成^{じょう}城」
第52代成城体育部連合会本部役員全員集合!!

委員長	長	小池 康裕	(男子ゴルフ部)
副委員長	長	松田 玲奈	(女子ラクロス部)
副委員長	長	山下 利奈	(女子タッチフットボール部)
運営局長	長	石津 未貴	(アメリカンフットボール部)
広報局長	長	佐々木 悠	(合気道部)
財務局長	長	内田 学	(合気道部)
事務・渉外局長	長	中野 祐美	(洋弓部)
四大戦推進局長	長	加藤 大騎	(男子ラクロス部)

体育会PR

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます (^-^*)

これから始まる大学生活に大きな期待と少しばかりの不安を持っていることと思います。

大学生活を充実させるために、体育会への入部をお勧めします。「体育会」といってもいろいろな部活があり、きっと皆さん一人ひとりに合った部活が見つかることと思います。

部活に入っていると他では得難い物が手に入ったりします。例えば、最後まで諦めずに挑戦する心、ここぞというときに発揮する集中力、そして何より素晴らしい仲間や先輩…。学部や学年の異なる人たちや時には他大学の人と出会え、いろいろな考えを持った人たちに影響を受けて、肉体的にはもちろんのこと、必ず精神的にも成長できます。人間力がつきます!!

大学という自由で束縛のない世界で本当の意味での達成感、満足感を得ることは容易ではありません。自ら目標を持ち、その方向に向かって動き出して初めて、そこに一步近づけるのだと思います。大学生活というこの大切な時間をぜひ有効に使ってください。

「競技に愛を 試合に夢を 練習に心を」という言葉があるスポーツ雑誌の表紙に載っていました。まさにこれこそ体育会の何たるかを表しているものであると思います。競技を愛し、勝つことを夢見て、心をこめて日々練習に勤しむ。直感に理由はありません！是非、いろいろな部活を見て、あなたを待っている場所を、また、あなたの居場所を直感で感じ取ってください。そして充実した大学生活を送ってってください。



男子ラクロス部



水泳部・ライフセービング部
卓球部・合気道部



女子ラクロス部
男子ホッケー部・女子ホッケー部



女子タ
女子バ

《新入生に伝えたいこと》

4月16日(月)に文体連オリエンテーションを行います!文体連オリエンテーションとは、体育部連合会と文化部連合に所属している団体が自分たちの部活をアピールしていく大規模なイベントです。この日は5限が休講になり、五十周年記念講堂で16時30分から行います。

私はアメリカンフットボール部のマネージャーをしています。部活に入ったことによって知り合いが増えたのはもちろん、チームプレーを通して仲間の大切さ、最後まで諦めない気持ちを得ることができました。部活動をやっている人からは、「普通の友達とは違った仲間ができた。」「部活は今の生活のすべて。部活なしの大学生活は考えられない。」などといった声をよく聞きます。私自身、最初は部活に入ること自体迷っていましたが、今となっては部活に入って本当によかったと思っています。

なので、もう部活を決めた人はもちろん、まだ部活を迷っている人、何をやりたいか分からない人、大歓迎です☆豪華景品を用意したクジ引き大会も用意しています!!!気軽に見に来てください。体育会一同、心よりお待ちしております!

文体連オリエンテーション実行委員会代表 石津未貴



アメリカンフットボール部
サッカー部・ラグビー部



ヨット部・洋弓部



ワンダーフォーゲル部



剣道部・陸上部・バドミントン部



男子バレーボール部・女子バレーボール部



馬術部・弓道部

文体連リーダーズ・サミットに出席した部活の幹部に、自分の部のユニフォームを着てもらいました。

(全ての部ではありません)

四大戦とは四大学運動競技大会の通称

旧制7年制高等学校当時より、同じような学風を持つ、学習院大学・成蹊大学・武蔵大学と本学の4大学の体育会が中心となり、スポーツを通じて各校の親善交流を促進することを目的として行っている大会です。競技は、**各校の体育会所属団体が競い合う正式種目**、学内予選を勝ち抜いた一般学生が競う一般種目そして教職員種目の3種類があります。

一般種目 硬式・軟式庭球(男・女・混)、卓球(男・女・混)、サッカー、軟式野球、ソフトボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、バドミントン(男・女)、バレーボール(男・女)

教職員種目 硬式庭球、ソフトボール、バレーボール



硬式庭球部 (男子・女子)



サッカー部
バスケットボール部



柔道部・空手部



自動車部・男子ゴルフ部



硬式野球部・男子バスケットボール部

弓道場

弓道部

第2グラウンド

アメリカンフットボール部
女子タッチフットボール部
ラグビー部

大学体育館

卓球部
バドミントン部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
男子バレーボール部
女子バレーボール部



見学大歓迎！

自分にあった部活を見つけて下さい！
グラウンドや体育館や道場…
実際に見てくれば、部活の雰囲気
がわかるはず。練習場所や時間は、体連
の冊子「GET」に詳しく載っています。
気軽に声をかけてください！
もちろん僕たちも、声をかけます。
こわがらないでくださいね！



大学テニスコート

硬式庭球部
(男子・女子)



道場

合気道部
空手道部
剣道部
柔道部

第1グラウンド

硬式野球部
サッカー部
男子ホッケー部
女子ホッケー部
男子ラクロス部
女子ラクロス部
陸上競技部

伊勢原総合グラウンド

自動車部 (部室)
馬術部

2号館屋上 (射場)

洋弓部

トレーニングセンター

水泳部 (学園プール)
スキー部 (他)
漕艇部 (戸田ポート場)
ライフセービング部 (片瀬江ノ島)

アイスホッケー部 → → → 神宮スケートリンク
男子ゴルフ部 → → → → 成城ゴルフ
女子ゴルフ部 → → → → 成城ゴルフ
ヨット部 → → → → → 江ノ島
ワンダーフォーク部 → → → → → 砦公園





成城探究

経済学部准教授 塘 誠（とも まこと）

めーあ・りひと



成城大学よろこそ。はじめて成城学園にいらした方は、成城の街をもうご覧になったでしょうか？学園高校から進学した方は、成城の街のことをどれくらいご存じでしょうか？

大学から徒歩5、6分ほどの成城5丁目に「猪俣邸」がある。昭和初期に活躍し、吉田茂邸、岸信介邸、五島美術館などを手がけた建築家、吉田五十八氏の作品である。562坪の敷地に延床面積112坪の武家屋敷風数寄屋づくりの建物、スギゴケで覆った地面にアカマツやモミジなどの木々を配した回遊式の日本庭園、2つの茶室、坪庭などを有する。「貴重な文化財として未永く残したい」とのご子息の意向で1998年から一般公開されているという。平日に訪ねても、幾名かの客と一緒にいる。記帳によると遠方からの来客も目につく。ところが、10年以上、大学に勤める教職員に尋ねても、その存在を知る人は少ない。身近な場所のことは意外と知らないものである。たとえ知っていても、いつでもいけると思っていると、つい行きそびれてしまいがちである。

さて、大学の講義は、高校までのように朝から夕方まで隙間なく詰まっているわけではない。講義の合間、あるいは昼食後に成城の街を散策してはいかがだろうか。

大学のある6丁目、その西に続く5丁目、北の7丁目には、猪俣邸のような和風建築、文化住宅、別荘風、山小屋風の建物からモダンな近代建築まで、その多様性はさながら住宅博覧会場である。季節ごとに専門の庭師が手入れした生け垣は、街路樹、建物ともマッチする。庭や玄関のライトアップに凝った家も随所に見られ、暗くなってからの散策も楽しめる。休日には、一眼レフを手にした方も目にする。これに倣って、コンパクトデジカメをポケットにひそませておくと、街を見る焦点が定まる。

アートに触れたいなら、大学の正門から西に延びる銀杏並木沿いに緑陰館ギャラリー、5丁目にわたせせいぞうギャラリー（アップルファームギャラリー）、2丁目には世田谷美術館分館の清川泰次記念ギャラリーがある。甘いもの好きの方は、洋菓子店めぐりはいかがだろうか。成城アルプス、成城風月堂、マルメゾン、プレリアル成城、アンジェリーナ、カフェブルマン、祖師谷方面にはシェゾア、コンディトライ・ニシキヤ、オテル・ドウ・スズキなどがある。

1周20分、200円のミニバス旅行もできる。大学正門の前で毎時10分、40分過ぎに出くわす「祖師谷・成城地域循環ミニバス」を利用するのである。ミニバスは、祖師ヶ谷大蔵駅を起点に祖師谷商店街（ウルトラマン商店街）を北に進む。大学から北に1.2キロほどのところにある祖師谷公園前の仙川にかかる鞍橋を過ぎると成城9丁目に入る。大学の脇につながる道を南下、砧支所前を左折し、祖師ヶ谷大蔵駅に戻る。2005年12月の開通当時は、祖師谷商店街の人込みを抜ける際、誘導員がバスの前を走り人払いする光景もみられた。ミニバス1台がやっとの路地をすり抜けるスリルも味わえる。

学内にも知的好奇心を満たす催しがある。「成城学びの森」の講演会がそのひとつである。2007年度は、映画監督の大林彦彦氏、直木賞候補作家の荻原浩氏、長唄杵家派6世家元の杵家弥七氏をお招きして10月から12月にかけて開催される。このほか、民俗学研究所、経済研究所、教育研究所、成城学園同窓会でも同様のイベントが開催される。日頃の講義と異なる視点に接するいい機会である。

成城は、日本や世界を代表する指揮者、ノーベル賞作家、日本画家、洋画家、音楽家、俳優、スポーツ選手などが住む街としても知られる。環境が人を作るといふ。これらの人々を引きつける成城の街にはきっと秘密があるはずだ。これから4年間、縁あって各界一流の人物が多く暮らす街で学ぶことになる。ぜひ、自分なりに成城の魅力を解き明かして欲しい。一見、あたりまえと思える日常を探究する心、それが大学における研究の端緒ともなる。

（題字は書道愛好会 小田朋未 07年卒）



フレッシュマン・ガイダンス

新入生の皆さんが開講後、授業や課外活動において充実したキャンパスライフを送れるよう、入学式～4月10日の間に以下のガイダンス等を集中的に行います。自分の予定を確認し、必ず参加して下さい。

経済学部						
A～F組：経済学科		G～L組：経営学科				
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの	
4月5日(木)	入学式	全体	10:00～	五十周年記念講堂		
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		11:30頃～	1号館 133～144教室 121～132教室		
4月6日(金)	学部ガイダンス	A～F組	10:00 集合	特別2号棟 特03教室	履・シ・時・筆	
	新入生オリエンテーション		14:30～15:30	7号館・8号館		
	国際交流室ガイダンス					
	MNCガイダンス	G～L組	9:00 集合	7号館 007 教室	履・シ・時・筆	
	学部ガイダンス		13:00～14:00	7号館・8号館		
	新入生オリエンテーション					
4月7日(土)	図書館ガイダンス	教務部・国際交流室ガイダンス	15:30～17:30	2号館 002 教室		
		MNCガイダンス	全体	9:00～10:00	図書館	
		学友会執行部主催オリエンテーション				10:00～11:00
						12:00～13:00
4月8日(日)	【経済学部全員】休み					
4月10日(火)	学生部・就職部ガイダンス	A～F組	9:30 集合	7号館 007 教室	バ・筆	
	相談コーナー		12:00～13:30	731, 732 教室		
	新入生歓迎パーティー	G～L組	14:00 集合	7号館 007 教室	バ・筆	
	学生部・就職部ガイダンス		16:30～18:00	731, 732 教室		
	相談コーナー			7号館学生ラウンジ		
4月11日(水)	開講日(1時限目の授業は9:00開始)					
4月16日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30～	五十周年記念講堂		

文芸学部						
A組：国文学科		B組：英文学科	C組：芸術学科	D組：文化史学科	E組：コミュニケーション学科	F組：ヨーロッパ文化学科
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの	
4月5日(木)	入学式	全体	14:00～	五十周年記念講堂		
	クラスガイダンス・新入生オリエンテーション ガイダンス終了後、解散		15:30頃～	7号館 731～733教室 721～723教室		
4月6日(金)	フレッシュマン・キャンプ (教務部ガイダンス ・国際交流室ガイダンスを含む)	A B C組	大学正門 8:30に集合	河口湖富士ビューホテル	履・シ・時・バ・筆	
	図書館ガイダンス	D組	9:00～10:00	図書館		
	MNCガイダンス	D E組	10:30～11:30	821・822・823教室		
	図書館ガイダンス	E組	12:00～13:00	図書館		
	図書館ガイダンス	F組	14:00～15:00	図書館		
	MNCガイダンス	F組	15:30～16:30	821・822教室		
4月7日(土)	フレッシュマン・キャンプ (教務部ガイダンス ・国際交流室ガイダンスを含む)	D E F組	大学正門 8:30に集合	河口湖富士ビューホテル	履・シ・時・バ・筆	
	フレッシュマン・キャンプより帰着	A B C組	16:30(予定)			
4月8日(日)	フレッシュマン・キャンプより帰着	D E F組	16:30(予定)			
	【A.B.C組】休み					
4月9日(月)	MNCガイダンス	A B組	9:00～10:00	821・822・823教室		
		C組	12:00～13:00	822・823教室		
【D.E.F組】休み						
4月10日(火)	図書館ガイダンス	A組	10:30～11:30	図書館		
		B組	11:30～12:30			
		C組	12:30～13:30			
	学友会執行部主催オリエンテーション	全体	14:00～16:00	2号館 002 教室		
4月11日(水)	開講日(1時限目の授業は9:00開始)					
4月16日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30～	五十周年記念講堂		

履：『履修の手引』 シ：『シラバス』 時：『授業時間割表』
 パ：『パンフレット成城』 筆：筆記用具

法学部

月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの
4月5日(木)	入学式	全体	10:00~	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		11:30頃~	5号館	
4月6日(金)	学部ガイダンス	全体	13:00 集合	7号館 007教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション				
	教務部・国際交流室ガイダンス MNCガイダンス		16:30~17:30	7号館・8号館	
4月7日(土)	図書館ガイダンス	A B組	14:00~15:00	図書館	
	【E.F.G.H組】休み	C D組	15:00~16:00		
4月8日(日)	【法学部全員】休み				
4月9日(月)	図書館ガイダンス	E F組	11:00~12:00	図書館	
		G H組	12:00~13:00		
	学生部ガイダンス 学友会執行部主催オリエンテーション	全体	14:00~15:00 15:30~17:30	7号館 007 教室 2号館 002 教室	パ・筆
4月10日(火)	【法学部全員】休み				
4月11日(水)	開講日(1時限目の授業は9:00開始)				
4月16日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30~	五十周年記念講堂	

社会イノベーション学部

A~E組：政策イノベーション学科 F~J組：心理社会学科

月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの
4月5日(木)	入学式	全体	14:00~	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		15:30頃~	2号館	
4月6日(金)	【社会イノベーション学部全員】休み				
4月7日(土)	学部ガイダンス	全体	10:00 集合	7号館 007 教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション				
	教務部・国際交流室ガイダンス 新入生歓迎パーティー		12:45~	7号館学生ラウンジ	
	MNCガイダンス	A~E組	14:00~15:00	8号館	
	相談コーナー	F~J組			
	MNCガイダンス	F~J組	15:00~16:00		
	相談コーナー	A~E組			
学友会執行部主催オリエンテーション	全体	16:00~18:00	2号館 002 教室		
4月8日(日)	【社会イノベーション学部全員】休み				
4月9日(月)	図書館ガイダンス	A B組	9:00~10:00	図書館	
		C D E組	10:00~11:00		
	学生部ガイダンス	全体	11:30~12:30	7号館 007 教室	パ・筆
	図書館ガイダンス	F G H組	14:00~15:00	図書館	
	I J組	15:00~16:00			
4月10日(火)	【社会イノベーション学部全員】休み				
4月11日(水)	開講日(1時限目の授業は9:00開始)				
4月16日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30~	五十周年記念講堂	

大学院 経済学研究科・文学研究科・法学研究科

月日(曜)	ガイダンス等の名称	時間	場所	備考：持参物	
4月5日(木)	入学式	10:00~	五十周年記念講堂		
	教務部・学生部ガイダンス(全員) (履修の手引・シラバス、授業時間割表、 学生証等配付)	入学式 終了直後	法人事務局棟 3階大会議室		
	MNCガイダンス	14:00~15:00	8号館 821 教室		
	研究科ガイダンス	経済学研究科 文学研究科 法学研究科	15:30~16:30	特別3号棟1階会議室 法人事務局棟 3階大会議室 5号館53A教室	
	図書館ガイダンス(全員)	16:30~17:30	図書館		
4月11日(水)	開講日(1時限目の授業は9:00開始)				



フレッシュマン・ガイダンス

文体連オリエンテーション 日時…4月16日(月) 16:30~
 (本誌10~16頁参照) 場所…五十周年記念講堂

学生会執行部主催オリエンテーションとは、学生会の各学部執行部会が主催し、新入生の皆さんに各学部の学生生活を案内するものです。
 (本誌10頁参照)

前期授業開始 4月11日(水)

開講から履修登録を済ませるまでは、履修を希望する授業に自由に出席することができます。
 ただし、必修科目の授業については第1回目から出席してください。

2007年度 クラス担任・学生委員等一覧表

本学では、クラスごとの担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでもクラス担任・学生委員等に気軽に相談してください。
 また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

経済学部		
学年	組	担任
1	A	山重 芳子 准教授
	B	花井 清人 教授
	C	中條屋 進 教授
	D	大津 武 准教授
	E	中村 理香 准教授
	F	田中 誠一 教授
	G	木下 直也 教授
	H	牧野 陽子 教授
	I	岩本 修巳 教授
	J	上田 晋一 准教授
	K	渡邊 由陽 教授
	L	相原 章 准教授
2	全	ゼミナール担当者()
3	全	ゼミナール担当者()
4	全	ゼミナール担当者()
ゼミナールを履修していない学生は、学科主任。 経済学科 花井 清人 教授 経営学科 海保 英孝 教授		

文芸学部		
学年	組	担任
1	A	後藤 昭雄 教授
	B	森田 孟 教授
	C	小林 義武 教授
	D	小田 亮 教授
	E	奥田 秀宇 教授
	F	北山 研二 教授
2	A	小島 孝之 教授
	B	松田美作子 准教授
	C	千足 伸行 教授
	D	上杉 富之 教授
	E	南 保輔 教授
	F	木畑 和子 教授
3	A	工藤 力男 教授
	B	松川 祐子 准教授
	C	石鍋 真澄 教授
	D	松崎 憲三 教授
	E	森 暢平 専任講師
	F	林田 伸一 教授
4	A	宮崎 修多 教授
	B	鶴見 良次 教授
	C	相澤 正彦 教授
	D	小島 孝夫 准教授
	E	川上 善郎 教授
	F	一之瀬正興 教授

法学部		
学年	組	担任
1	学生委員	太田 晋 准教授 鋤本 豊博 准教授 中村 肇 准教授 平野 篤司 教授
	2 全	基礎演習担当者
	3	専門演習担当者(専門演習を履修していない学生は、大津 浩 教授・辻 陽一 教授)
	4	

社会イノベーション学部		
学年	組	担任
1	学生委員	手塚 公登 教授 村田 裕志 教授 平井 正子 教授 齋藤 忠志 教授 田中 陽子 教授
	2 全	基礎ゼミナール担当者
	3 全	ゼミナール 担当者

社会イノベーション学部のオフィスアワーについて

社会イノベーション学部では、教員が週のある曜日・時間を決めて研究室に在室し、学生はその時間帯に自由に教員を訪ね、質問・相談できるオフィスアワー制度を設けています。各教員のオフィスアワーは、『パンフレット成城』73頁とホームページに掲載しています。

なお、オフィスアワー以外の時間帯でも質問・相談はできます。その場合は、あらかじめ予約をとっておいた方がよいでしょう。



2007年「成城 学びの森」コミュニティー・カレッジ春夏期講座のお知らせ

成城大学では、「成城 学びの森」の名称で、生涯学習支援事業を行っています。

これは、地域住民の皆様にも本学で新たな知的満足を得ていただくことを目的としていますが、学生諸君にも門戸を開いています。受講料を払って参加することは勿論できますが、本学学生は各講座3名まで無料で受講することができます。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。

申込期間 平成19年4月9日(月)～4月27日(金)(消印有効)

開講期間：平成19年5月7日(月)～7月14日(土)

01) ラテンアメリカ史の光と蔭 講師：中川 和彦 月曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/7 5/21 6/4 6/18 7/2 7/9	08) にんげんの本性を考える Perspectives on Human Nature from science and literature 講師：Dennis Riches 木曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 6/7 6/14 6/21 6/28 7/5 7/12
02) バッハのオルガン音楽 講師：小林 義武 火曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/8 5/15 5/22 5/29 6/5 6/12	09) ドラマの英語 - シャーロック・ホームズを楽しむ - 講師：杉本 豊久 金曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/11 5/25 6/8 6/22 7/6 7/13
03) 小泉八雲の日本 講師：牧野 陽子 火曜日(18:30～19:50) 受講料 9,000円 5/15 5/29 6/12 6/26 7/10	10) 日本の不思議発見!? 講師：三門 準 金曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/18 6/1 6/15 6/29 7/6 7/13
04) 白州正子に誘われる旅・白州正子に学ぶ日本の美術 講師：青柳 恵介 水曜日(18:30～19:50) 受講料 9,000円 5/9 5/23 6/6 6/20 7/4	11) ミュージカル映画の誕生と確立 講師：木村 建哉 土曜日(試写10:30～12:00 講義13:00～14:20) 受講料 10,800円 5/12 5/26 6/9 6/23 7/7 7/14 試写(無料)：日程同上6回
05) ローマ、都市と美術 講師：石鍋 真澄 水曜日(18:30～19:50) 受講料 9,000円 5/16 5/30 6/13 6/27 7/11	12) 思い出の心理学 講師：野島 久雄 / 永井由美子 土曜日(講義13:00～14:20) (ワークショップ14:40～16:00) 受講料 9,000円 5/19 6/2 6/16 6/30 7/7 ワークショップ(無料) 6/2 6/30 7/7
06) 啄木短歌の世界を行く 講師：近藤 典彦 水曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/16 5/30 6/13 6/27 7/11 7/14(土) 文学散歩	13) パリの外国人アーティストを育んだ「場」 講師：有田 英也 土曜日(14:40～16:00) 受講料 9,000円 5/26 6/2 6/9 6/16 6/23
07) 遊びから数学に迫ろう 講師：岡部 恒治 木曜日(18:30～19:50) 受講料 10,800円 5/10 5/17 5/24 6/21 6/28 7/5	

パンフレット請求・お問い合わせ先・申込先

(大学1号館事務フロア)

成城大学「成城 学びの森」事務局(企画調整室) 〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

TEL 03-3482-9031 FAX 03-3482-6360

URL <http://www.seijo.ac.jp> E-mail manabi@seijo.ac.jp



各部の主な業務紹介

学生部：学生の生活全般、課外活動、健康管理等のサービスを行う機関

学生課：1号館1階 03-3482-9081	学生相談室：4号館2階 03-3482-9086
<ul style="list-style-type: none"> a. 学友会その他学生の自治活動の助言・指導および育成に関すること b. 学生の集会、出版物、掲示、行事に関すること c. 部室・課外活動教室の管理に関すること d. 学生証、通学証明書、学割証等の発行に関すること e. 転部・転学科・休学・復学・退学等に関すること f. 住所変更および身上異動に関すること g. 欠席に関すること（忌引、病気・けが等による7日以上 の欠席） h. 学生教育研究災害傷害保険に関すること i. 奨学金に関すること j. 下宿・アルバイトの斡旋に関すること k. 遺失物・拾得物、盗難被害に関すること l. 授業料等納付金に関すること m. 自転車通学に関することおよび自転車通学特別許可に関すること n. ピラ配布・ポスター掲示等の届出に関すること o. 成城大学トレーニングセンターに関すること 	<ul style="list-style-type: none"> a. 相談活動（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談） b. 心理テスト・性格検査等の実施 <p style="text-align: right;">下記の事務取扱時間とは異なります</p>
	保健室：特別2号棟1階 03-3482-9085
	<ul style="list-style-type: none"> a. 健康診断の実施 b. 健康管理・健康相談（医師・看護師） c. 応急処置や休養への対応 下記の事務取扱時間とは異なります
学生部よりお知らせ	
定期健康診断（問い合わせは保健室）	
日程 4月13日、4月17日～20日	
午前の部：男子... 9:30～12:30	
午後の部：女子...13:30～16:30	
場所 五十周年記念講堂	
内容 胸部レントゲン撮影、検尿、身長・体重測定	
自転車通学を希望する場合（年度ごとに申請）	
学生部で登録申請を行い「登録ステッカー」を受取り 自転車本体の目立つ位置に貼付。（指定の駐輪場に駐輪）	

就職部：就職指導・斡旋に関するサービス機関

就職課：特別2号棟1階 03-3482-9063
<ul style="list-style-type: none"> a. 就職指導・斡旋に関すること（相談・各種ガイダンスの実施） b. 求人に関すること（求人受付・開拓） c. 学内選考に関すること d. 就職資料室に関すること（資料の収集・管理） e. 卒業年次生の進路登録に関すること f. インターンシップに関すること

大学事務取扱時間

月～金曜日 8:30～18:00

土曜日 8:30～13:00

日曜日、国民の祝日、年末年始、夏季一斉休業
期間は業務を行いません。

その他変更がある場合は、掲示・Campus
Square for Webでお知らせします。

教務部：学生の教学に関するサービス機関

教務課：1号館1階 03-3482-9045	学務課：1号館1階 03-3482-9054
<ul style="list-style-type: none"> a. 授業に関すること b. 履修登録の受付、履修相談および指導 c. ゼミナール（演習）届、コース申請の受付 d. 履修の手引・シラバス、授業時間割の作成 e. 卒業論文に関すること f. 休講等の掲示、授業教室使用の管理 g. 学長賞懸賞論文に関すること h. 聴講生等の取り扱い業務 	<ul style="list-style-type: none"> a. 学業成績に関すること b. 教職課程に関すること c. 学芸員課程に関すること d. 学内試験およびレポートに関すること e. 証明書等の発行に関すること
教務部よりお知らせ	
履修相談	Web履修登録説明会・履修相談
日時 4月3日(火) 経済 10:00～12:00 文芸 14:00～16:00	日時 4月7日(土)～9日(月)10:00～12:00, 14:00～16:00
4日(水) 法 10:00～12:00 社イノ 14:00～16:00	場所 721、722教室
場所 特21教室	

入試広報部：入学試験に関する業務および学生募集に関する広報活動を行う機関

入試広報課：2号館1階 03-3482-9100
<ul style="list-style-type: none"> a. 入学試験の実施に関することー学部、大学院、専攻科、編入学、学士入学、推薦入学、AO入試等 b. 学生募集に関することー大学案内、入試要項の作成・頒布 c. 入試広報活動に関することーオープンキャンパスの企画・実施、各種進学相談会の企画・実施

「Campus Square for Web (キャンパス・フォー・ウェブ)」について

Campus Square for Web は、学生生活に必要な情報等をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。

アクセスURL (アドレス)

<https://cs.seijo.ac.jp/>

大学ホームページ(キャンパスガイド-在学生向け情報-)内
「Campus Square for Web」リンクからもアクセスできます。

Campus Square for Web で利用できる情報

学籍情報：大学に登録されているあなたの情報です。
履修状況：履修登録完了後から
個人成績情報
休講・補講情報：履修登録完了後から
就職関連情報
お知らせ掲示：インターネット版お知らせ掲示です。

緊急の場合など、全てのお知らせが掲載されるとは限りません。
必ず学内掲示板を確認するようにしてください。
詳しくは「パンフレット成城」26～27頁参照

日本学生支援機構の奨学金について

日本学生支援機構は、総合的に学生支援を実施するために設立された国の機関です。旧「日本育英会」の事業を承継し、大学で選考・推薦手続きを経て、奨学金を採用者に貸与する機関で、代表的な奨学金です。希望者は必ず説明会に出席してください。

奨学金出願者説明会：説明会に出席しないと出願できません。

対象：学部生	日時：4月12日(木)18時～ 場所：特03教室
対象：大学院	日時：4月13日(金)18時～ 場所：特21教室

予約進学者説明会：説明会に出席しないと貸与が受けられません。

対象：予約進学者...高等学校在学時に、奨学生採用候補者に決定している者。	日時：4月11日(水)18時～ 場所：特21教室
---------------------------------------	-----------------------------

詳しくは「パンフレット成城」33～36頁参照 【学生部】

第28回 学長賞懸賞論文の募集について

学長賞懸賞論文は、本学学生の勉学意欲を振起すことを目的として、1980年度から始められました。審査の結果、優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り、入賞者には賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の応募要領(論題、応募規定、論文提出期間等)については、5月下旬にあらためて掲示板およびホームページにて発表します。 【教務部】

平成19年度学事・行事暦

4月	3日(火)～ 5日(木)～10日(火)	履修の手引・シラバス等の配付 新入生オリエンテーション・ガイダンス、フレッシュマン・キャンブ(文)
	5日(木)	入学式
	5日(木)	Web予備申請開始 9時
	9日(月)	Web予備申請登録締切 17時
	11日(水)	前期授業開始、Web予備申請結果発表・Web履修登録開始8時半
	13日(金)～20日(金)	定期健康診断
	16日(月)	文・体連オリエンテーション 場所：五十周年記念講堂
	24日(火)	Web履修登録締切(経済)18時
	25日(水)	Web履修登録締切(文芸)18時
	26日(木)	Web履修登録締切(法)18時
	27日(金)	Web履修登録締切(社イノ・大学院)18時
5月	2日(水)	月曜日の振り替え授業を実施
5月	5日(土)	創立記念日
6月	24日(日)	オープンキャンパス
7月	14日(土)	前期授業終了
	17日(火)～27日(金)	学期末定期試験
	28日(土)	夏季休暇開始
	28日(土)	オープンキャンパス
	29日(日)	オープンキャンパス
9月	25日(火)	後期授業開始

サービス施設の前期の予定日

図書館

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～16:00
開講期間の閉館時間

MNCオープンルーム：8号館1階

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～16:00

トレーニングセンター(4/11～9/24)

月～金曜日 10:00～20:00
土曜日 10:00～17:30

4/10までと、7/17以後の開館時間はとも10:00～17:30

いずれも受付は終了時間の30分前まで

臨時の閉館日・閉室日等は、掲示やホームページ等でお知らせします。

成城大学ホームページ

URL <http://www.seijo.ac.jp/>



主な関係部署の電話番号

大 学 関 係	教務部	教務課	03 - 3482 - 9045
		学務課	03 - 3482 - 9054
	学生部	学生課	03 - 3482 - 9081
		学生相談室	03 - 3482 - 9086
		大学保健室	03 - 3482 - 9085
		トレーニングセンター	03 - 3482 - 5790
		就職部	03 - 3482 - 9063
	国際交流室	03 - 3482 - 9020	
	企画調整室	03 - 3482 - 9031	
	大学図書館	03 - 3482 - 3555	
	メディアネットワークセンター	03 - 3482 - 2165	
	総務課	03 - 3482 - 2101	
	管理課	03 - 3482 - 9239	
	入試広報部	03 - 3482 - 9100	
	経済学部	03 - 3482 - 9403	
	文芸学部	03 - 3482 - 9412	
	法学部	03 - 3482 - 9644	
	社会イノベーション学部	03 - 3482 - 9009	
	学 園 関 係	会計課	03 - 3482 - 1302
		管財課	03 - 3482 - 1409
学園正門案内所		03 - 3482 - 1452	
伊勢原総合グラウンド		0463 - 93 - 0771	

平成19年度主な人事異動

新任役職者

学長	清水 眞澄
教務部長	杉本 義行
入試広報部長	山田 直巳
メディアネットワークセンター長	田嶋 信雄
文学研究科長	田中 宣一

新任教員

経済学部	境 進一	准教授
経済学部	阿部 勸一	准教授
文芸学部	後藤 昭雄	教授
文芸学部	東谷 護	准教授
法学部	大津 浩	教授
法学部	川 淳一	教授
法学部	鋤本 豊博	教授
法学部	西土彰一郎	准教授
社会イノベーション学部	青池 慎一	教授
社会イノベーション学部	石原 邦雄	教授
社会イノベーション学部	伊地知寛博	教授
社会イノベーション学部	内田 真人	教授
社会イノベーション学部	十川 廣國	教授

昇任

村瀬 鋼	(文) 助教授	教授
古川 良治	(社) 助教授	教授

配置換え

早川 基	(短) 助教授	(法) 准教授
------	---------	---------

短期大学部閉学

短期大学部の閉学式が3月31日に執りおこなわれ、専攻科の学生44名の卒業を最期に幕を閉じるに至りました。短期大学部は1954年に発足し、以来50余年、社会のニーズに応え得る人材の育成・輩出をしてきました。

編集後記

新学年、新入学。春はスタートの季節である。今、心新たにこのスタートラインに立つに当たって、自らの立つところについて思いを致してみることも意味の無いことではないであろう。

君が、今、ここ、にあるについては、多くの人々のお蔭であること、言うまでもない。両親、家族、先生や先輩、友人・知人…。これらの人々のお力無くして今の君はあり得ない。まず君は、それに感謝しなくてはならない。君の「今」は、決して君だけのものでも、今だけのものでもないのである。さらに、君の御両親があるについても、おじいさん・おばあさん、さらにその存在のためには、曾祖母、高祖母…と、何世代にも亘る御先祖のお蔭があるのである。さらにその歴史をたどるならば、それは人類数万年の歴史を溯って、生命悠久の進化の過程に繋がって行く。君の命は、原初の生命体から数十億年、片時も途切れることなく続いて来たものなのだ。これは奇蹟である。それだけで君はすでに祝福されている。

そして、君のいる「ここ」もここだけのものではない。もし今、日本の輸入が止まれば忽ち衣食住が困難になる。君の「ここ」は世界とも繋がっているのだ。君は一人ではない。歴史に、世界に、自然に支えられているのだ。何とありがたいことであろう。

だが君のタバコの、車の、呼吸の排ガスは、地球を巡り巡って、大気汚染・地球温暖化となって何十億の人々に影響を及ぼしてしまうことも否定し難い事実でもある。

さて、君は、どこに向かってスタートを切るのか？

(学生部長 上野英二)



～今号の表紙～

二月初旬、厳しい寒さの中、「期待と不安でいっぱいであろう新入生を熱く迎えよう！」と多くの部活が集まり、その気持ちを表現してくれた。

撮影：佐藤(学生部)

学生生活 214号

発行日	平成19年4月5日
編集・発行	成城大学 学生部
	〒157-8511 世田谷区成城6-1-20
編集責任者	上野英二
編集	古川米男・山本留実・佐藤英之
印刷	株式会社 芳文社